

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり13.14人の報告があり、前週の約1.4倍に増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が16件報告されています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第3週 A型:48人、B型:36人

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

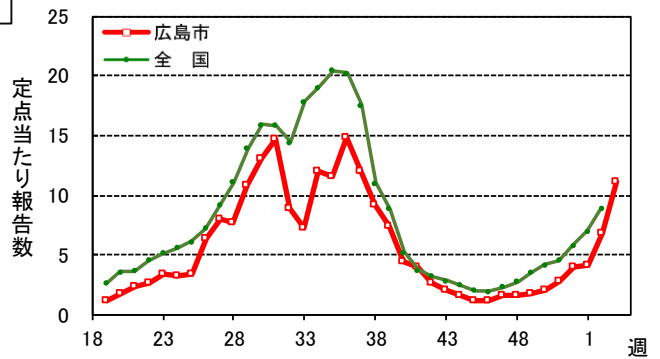
定点当たり11.14人の報告があり、前週の約1.6倍に増加しました。

高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクも高まります。手洗い、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。また、寒くなると窓を閉め切った屋内で過ごすことが増えるので、「換気の悪い密閉空間」にならないよう、こまめに換気をしましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり10.74人の報告があり、前週の約1.7倍に増加しました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況(2023~2024年)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい
												↑	↓	↗	↘
インフル	インフルエンザ	473	13.14	13.73	↗	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.09					
	新型コロナ(COVID-19)	401	11.14		↗		流行性耳下腺炎	-	-	0.06					
小児科	RSウイルス感染症	2	0.09	0.18		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03					
	咽頭結膜熱	50	2.17	0.14	↗		流行性角結膜炎	13	1.63	0.23					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	2.83	0.90	↗	基幹	細菌性髄膜炎	1	0.14	-					
	感染性胃腸炎	247	10.74	6.57	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-					
	水痘	11	0.48	0.08			マイコプラズマ肺炎	-	-	-					
	手足口病	4	0.17	0.23			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-					
	伝染性紅斑	-	-	0.18			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-					
	突発性発疹	2	0.09	0.31											

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	1	50歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	20歳代・O157
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	70歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2	10歳未満
5	梅毒	3	4	20歳代・3人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	定点当たり	全国	インフルエンザ	新型コロナウイルス(COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
			第51週	824	101	1	136	100	185	1	18	1	4	5	1	-	16	1	-	-	-	-
第52週	685	144	1	104	89	137	1	9	-	3	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-
第1週	335	148	1	45	27	60	7	3	-	1	-	-	-	14	-	-	-	-	1	-	-	-
第2週	327	237	-	57	58	144	5	5	1	2	-	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-	-
第3週	473	401	2	50	65	247	11	4	-	2	1	-	-	-	13	1	-	-	-	-	-	-
第51週	22.89	2.81	0.04	5.91	4.35	8.04	0.04	0.78	0.04	0.17	0.22	0.04	-	2.00	0.14	-	-	-	-	-	-	-
第52週	19.03	4.00	0.04	4.52	3.87	5.96	0.04	0.39	-	0.13	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-
第1週	9.31	4.11	0.04	1.96	1.17	2.61	0.30	0.13	-	0.04	-	-	0.13	1.75	-	-	-	-	0.14	-	-	-
第2週	9.34	6.77	-	2.48	2.52	6.26	0.22	0.22	0.04	0.09	-	0.04	-	1.38	-	-	-	-	-	-	-	-
第3週	13.14	11.14	0.09	2.17	2.83	10.74	0.48	0.17	-	0.09	0.04	-	-	1.63	0.14	-	-	-	-	-	-	-
第1週	12.70	6.98	0.04	1.46	1.74	2.83	0.15	0.14	0.01	0.12	0.02	0.01	0.01	0.72	0.01	0.01	0.05	-	-	-	0.01	-
第2週	12.99	8.96	0.07	1.44	2.83	5.35	0.14	0.13	0.02	0.20	0.02	0.03	0.02	0.89	0.01	0.02	0.07	-	-	-	-	-

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜周擁充血 瞼結膜の発赤 結膜浮腫	78	2023/11/17	結膜擦過物	アデノウイルス56型
流行性角結膜炎	発熱 結膜炎 結膜充血 眼脂	24	2023/11/18	結膜擦過物	アデノウイルス56型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血	36	2023/11/18	結膜擦過物	アデノウイルス56型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】無料・匿名の梅毒検査について

梅毒は、主に性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。感染すると、感染部位にしこりができたり、痛み、かゆみのない発疹が手のひらや体中に広がることがあります。これらの症状は自然に軽快しますが、症状が消えても感染力が残っているのが特徴です。また、治療をしないまま放置していると、心臓や血管、脳などに病変が生じ、時には死にいたることもあるため、早期発見・早期治療が大切です。

広島市の保健センターでは、梅毒検査を無料・匿名で行っています。住所や性別などを問わず、どなたでも受けることができます。原則としてHIV(エイズ)検査と同時受検となります。

検査は予約制です。あらかじめ、検査を希望される保健センターに電話で予約してください。連絡先等は、ホームページをご参照ください。

保健センターの無料・匿名の梅毒検査

広島市の各区保健センターでは、無料・匿名の梅毒検査を実施しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>



新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30~18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp